

三原市中之町コミュニティセンター “遊んで、学んで、大発表会 (パート1～3)”

一子供たちの学習支援を通じて、コミセンを地域の拠点に—

独自に取り組んでいた小学校総合学習支援(施設見学受け入れ)やPTAバザー時の学習発表支援(出前講座)を「質・量」とともに拡大しながら、その他の企画と絡めたり、関連する機関(運営委員会、自治会の各組織、小学校、同PTA等)に働きかけたりする中でコミュニティセンターが「地域全体で子供を育てていく」という環境づくりを推進する雰囲気を作りだしてきました。

実施日:毎年7月～翌年2月

参加者:小学生、講座参加者、町内会児童部・老人部、PTA役員、地域協力者



つどう



まなぶ

子供たちや保護者及び地域住民にコミュニティセンターへ親近感をもってもらったり、子供たちの学習意欲を育成したりすることを目的として「地域で子供を育てる環境作り」をコミュニティセンターが軸となって発信・創出しています。子供たちや地域の方々コミュニティセンターへの親近感の熟成が進み、コミュニティセンターとしても活動の活性化やボトムアップに繋がっています。

夏休みを利用した講座では、親子を対象としてピースキャンドルを作ったりお年寄りから戦争体験を聴いたりするなどの平和学習を行いました。また、保護者が中心となって企画を提案するなど主体的な活動も行われています。

出前講座を受けた子供たちは学習発表会では、課題ごとに由来・歴史を研究・調査し、PTAバザー時に保護者や全校児童の前で発表しました。

むすぶ

小学生や地域の方で作った折鶴が中国新聞やケーブルテレビでも取り上げられ、「僕たち、私たちが作った折り鶴アート」として話題になり、地域の一体感を創り出すことができました。

企画・事業を地域組織との連携で行うことによって、地域の各組織やグループ・人材との交流が広がり、地域間連携の基礎作りを進めることができました。